

救急医学講座／救急部

1. 【教育】	
1-1. 到達目標	2次3次救急診療で経験すべき疾患と病態について説明できる
1-2. 現状説明	講義や勉強会、学術集会への参加により知識の習得に努めている
1-3. 点検・評価	筆記試験や口頭による確認
1-4. 目標・改善方策の達成度	概ね達成できている
2. 【研究】	
2-1. 到達目標	年に一回以上の全国学会発表と論文執筆を行う
2-2. 現状説明	臨床研究や症例経験を重ねながら学術活動を遂行している
2-3. 点検・評価	学会発表や論文執筆状況を確認
2-4. 目標・改善方策の達成度	概ね達成できている
3. 【診療】	
3-1. 到達目標	2次3次救急診療で経験すべき疾患と病態に対し適確な治療を行うことができる
3-2. 現状説明	知識の習得に加えてOJTにより標準的診療レベルの習得に努めている
3-3. 点検・評価	臨床現場において知識や技術の習得状況を確認
3-4. 目標・改善方策の達成度	概ね達成できている
4. 【社会貢献】	
4-1. 到達目標	地域における病院前救護の質や救命率の向上のための教育活動に参加する
4-2. 現状説明	県ならびに地域における救急業務高度化推進にかかる会議や教育活動へ参加している
4-3. 点検・評価	参加状況の評価と毎年の病院前救急活動や救命率の報告を確認
4-4. 目標・改善方策の達成度	概ね達成できている

業績分類	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・四分位 (Quartile)	刊行状況	研究情報備考
1-1. 論文/原著 (査読有)	Fukuhara H, <u>Kobayashi T</u> , Takai S, Tawara T, Kikuta M, Sugiura A, Yamagishi A, Toyohara T, <u>Nakane M</u> , Tsuchiya N	* External validation of the CHOKAI score for the prediction of ureteral stones: A multicenter prospective observational study.	Am J Emerg Med. 2020 May;38(5):920-924. PMID: 31337599	IF=1.911, Q2		
1-1. 論文/原著 (査読有)	Shunji Edagawa, Fumiko Kobayashi, Fumihiro Kodama, <u>Masayuki Takada</u> , Yuki Itagaki, Akira Kodate, Keisuke Bando, Keisuke Sakurai, Akio Endo, Hisako Sageshima, Atsushi Nagasaka	Epidemiological features after emergency declaration in Hokkaido and report of 15 cases of COVID-19 including 3 cases requiring mechanical ventilation.	Glob Health Med. 2020 Apr;2(2):112-117. PMID: 33330787			E
1-1. 論文/原著 (査読有)	Yasuda H, Yamamoto R, Hayashi Y, Kotani Y, Kishihara Y, Kondo N, Sekine K, Shime N, Morikane K, Abe T, Takebayashi T, Maeda M, Shiga T, Furukawa T, Inaba M, Fukuda S, Kurahashi K, Murakami S, Yasumoto Y, Kamo T, Sakuraya M, Yano R, Hifumi T, Horiguchi M, Nakayama I, <u>Nakane M</u> , Ota K, Yatabe T, Yoshida M, Murata M, Fujii K, Ishii J: AMOR-VENUS study group.	* Occurrence and incidence rate of peripheral intravascular catheter-related phlebitis and complications in critically ill patients: a prospective cohort study (AMOR-VENUS study).	J Intensive Care. 2021 Jan;9(1):3. PMID: 33407891	IF=3.103, Q2	E Only	B
1-2. 論文/総説及び解説 (査読有)	<u>Nakane M</u>	Biological effects of the oxygen molecule in critically ill patients.	Journal of Intensive Care. 2020 Dec;8(1):95. PMID: 33317639	IF=3.103, Q2	E Only	
1-2. 論文/総説及び解説 (査読有)	鈴木博人, <u>中根正樹</u>	* 人工呼吸関連機器 ユーザーレポート NKV-330とcap-ONEマスクを用いた非侵襲的陽圧換気中のカプノグラム.	人工呼吸. 2020年5月; 37(1):116			
1-2. 論文/総説及び解説 (査読有)	<u>小林忠宏</u>	【呼吸管理2020-21ガイドライン、スタンダード、論点そして私見】人工呼吸 Dual controlled ventilation (DCV).	救急・集中治療. 2020年4月; 32(1): 159-167			
1-3. 論文/症例報告 (査読有)	黒木雅大, 鈴木博人, 高橋菜々子, 豊島歩美, <u>中根正樹</u> , 川前金幸	* 気管癌に対する気管分岐部再建術の麻酔経験.	日本臨床麻酔学会誌. 2020年5月; 40(3): 227-232			
1-4. 論文/著書 (査読有)	早坂達哉, <u>中根正樹</u>	* PCVとVCV	佐藤暢一, 麻酔科プラクティス3 麻酔科医に必要な周術期呼吸管理. 東京: 文光堂, 2020年12月: 88-91			
1-4. 論文/著書 (査読有)	早坂達哉, <u>中根正樹</u>	* 基本的な換気モード A/C	佐藤暢一, 麻酔科プラクティス3 麻酔科医に必要な周術期呼吸管理. 東京: 文光堂, 2020年12月: 92-95			
1-4. 論文/著書 (査読有)	鎌水健也, <u>中根正樹</u>	* 基本的な換気モード SIMV	佐藤暢一, 麻酔科プラクティス3 麻酔科医に必要な周術期呼吸管理. 東京: 文光堂, 2020年12月: 96-100			
1-4. 論文/著書 (査読有)	鎌水健也, <u>中根正樹</u>	* 基本的な換気モード PSV	佐藤暢一, 麻酔科プラクティス3 麻酔科医に必要な周術期呼吸管理. 東京: 文光堂, 2020年12月: 101-106			
1-7. 論文/その他	Fukuhara H, <u>Nakane M</u> , Tsuchiya N	* Reply to "Urolithiasis diagnosis with CHOKAI rule: are we there yet?"	Am J Emerg Med. 2020 Apr; 38(4): 844-845. PMID: 31744653	IF=1.911, Q2		
2-1-iii. 学会報告/国際学会/一般演題 (査読有)	<u>Sakaguchi K</u> , <u>Saito S</u> , <u>Takada M</u> , <u>Takahashi K</u> , Onodera Y, <u>Kobayashi T</u> , Kawamae K, <u>Nakane M</u>	* The relation between cerebral tissue oxygen saturation and end tidal carbon dioxide during cardiopulmonary resuscitation.	ESICM LIVES 2020, Madrid (DIGITAL); December 2020			

業績分類	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・四分位 (Quartile)	刊行状況	研究情報備考
2-2-ii.学会報告/国内学会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	中根正樹	呼吸管理における推奨文の解説 日本版敗血症ガイドライン2020;呼吸・AKIを知る.	第48回日本集中治療医学会学術集会, Web開催; 2021年2月			
2-2-ii.学会報告/国内学会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	中根正樹	酸素療法を語りつくす: より良い酸素療法を追求する時代へ.	第42回日本呼吸療法医学会学術集会, 京都; 2020年12月			
2-2-ii.学会報告/国内学会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	中根正樹, 志馬伸朗, 橋本悟, 安田英人, 安藤幸吉, 倉橋清泰, 吉田健史, 西村哲郎, 宮下亮一, 山田亨, 四元竜一	日本版敗血症診療ガイドライン2020:Now Open! 成人敗血症患者の呼吸管理における推奨.	第48回日本救急医学会総会・学術集会, 岐阜; 2020年11月			B
2-2-iii.学会報告/国内学会/一般演題(査読有)	小林忠宏, 早坂達哉, 中村直久, 小野寺悠, 鈴木博人, 岡田真行, 中根正樹, 川前金幸	* Full closed loop systemの臨床的有用性の検討: INTELLiVENT-ASV®はASVと比較して優れたモードなのか?	第48回日本集中治療医学会学術集会, Web開催; 2021年2月			
2-2-iii.学会報告/国内学会/一般演題(査読有)	小林忠宏, 中村直久, 小野寺悠, 秋元亮, 中根正樹, 川前金幸	* Full closed loop systemは人工呼吸におけるウィーニングの時間を短縮させる.	第42回日本呼吸療法医学会学術集会, 京都; 2020年12月			
2-2-iii.学会報告/国内学会/一般演題(査読有)	坂口健人, 齋藤聡子, 高田壮潔, 高橋一則, 小林忠宏, 深瀬和利, 中根正樹	救急隊から救急外来へのビデオ通信は救急医療を効率化するか.	第48回日本救急医学会総会・学術集会, 岐阜; 2020年11月			B
2-2-iii.学会報告/国内学会/一般演題(査読有)	高橋一則, 齋藤聡子, 高田壮潔, 坂口健人, 小林忠宏, 中根正樹	特色ある山形大学の研修プログラムに基づく3年間の後期研修を経て、山形県の救急医療のこれからを考える.	第48回日本救急医学会総会・学術集会, 岐阜; 2020年11月			
2-2-iii.学会報告/国内学会/一般演題(査読有)	齋藤聡子, 東海林想也, 高田壮潔, 坂口健人, 高橋一則, 早坂達哉, 田中賢, 小林忠宏, 中根正樹	* 救急外来転帰の予測因子としてのESIの検討.	第48回日本救急医学会総会・学術集会, 岐阜; 2020年11月			B
2-3-ii.学会報告/国内地方会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	小林忠宏	呼吸の身体所見とモニタリング.	日本集中治療医学会第4回東北支部学術集会, 山形; 2020年9月			
2-3-ii.学会報告/国内地方会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	小林忠宏, 高田聡子, 高田壮潔, 坂口健人, 高橋一則, 田中賢, 中根正樹	大学病院における救急救命士の導入経験.	第34回東北救急医学会学術集会, 長岡(誌上開催); 2020年6月			B
2-3-iii.学会報告/国内地方会/一般演題(査読有)	坂口健人, 高橋一則, 小野寺悠, 小林忠宏, 川前金幸, 中根正樹	* 心肺蘇生時の呼気終末二酸化炭素分圧と脳組織酸素飽和度との関連.	日本集中治療医学会第4回東北支部学術集会, 山形; 2020年9月			
2-3-iii.学会報告/国内地方会/一般演題(査読有)	高田壮潔, 小館旭, 坂東敬介, 櫻井圭祐, 遠藤晃生, 提嶋久子	新型コロナウイルスによる重症肺炎の1例.	日本集中治療医学会第4回東北支部学術集会, 山形; 2020年9月			E
2-4-iii.学会報告/研究会/一般演題(査読無)	鈴木彩笑, 坂口健人, 齋藤聡子, 高田壮潔, 高橋一則, 小林忠宏, 中根正樹	心停止蘇生後患者の治療方針決定の要因.	第22回山形救急懇話会, Web開催; 2021年2月			
2-4-iii.学会報告/研究会/一般演題(査読無)	佐藤風興, 坂口健人, 齋藤聡子, 高田壮潔, 高橋一則, 小林忠宏, 中根正樹	COVID-19流行前後における山形大学医学部附属病院救急部の診療の変化.	第22回山形救急懇話会, Web開催; 2021年2月			
2-5.学会報告/その他	中根正樹	敗血症性頻脈に対するオノアクトのポジショニングについて考える.	Stop Sepsis Meeting in 南東北, 山形(Web開催); 2020年9月			
3.学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催		日本集中治療医学会第4回東北支部学術集会	山形(Web開催); 2020年9月 http://www.jsicm.org/tohoku/2020/			